

坂東地域アグリ通信

平成29年2月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

第3回坂東地域農村女性講座を開催しました

1月23日（月），坂東市の農家レストラン「どんぐりてい」において，坂東地域農業改良普及センター主催による，本年度3回目の坂東地域農村女性講座が開かれ，子供と一緒に出席した2名を含む若手女性農業者13名が参加しました。

今回の講座は「農村地域活性化活動事例を学ぶ」をテーマに開催し，講師は「どんぐりてい」の倉持桂子氏に務めていただきました。本レストランは「たくさんの方々が気軽に来て，くつろげる空間」をコンセプトに，地元食材をふんだんに使った料理の提供や，地元米粉の加工品開発，さらに都市農村交流の一環として農業体験も実施している等の講演は，受講者それぞれの農業経営を真剣に考える良いきっかけとなったようです。

また，家庭でも簡単にできる「餅米粉の団子づくり」加工実習を行いました。完成した団子は，農業体験で収穫した黒大豆のきな粉と合わせて試食しました。女性農業者の方からは「団子もおいしいが，きな粉も普段とは違う味わいがある。家でも使いたい！」と，団子とともにきな粉も好評でした。さらには，「米粉の料理をもっと教えてほしい。」「米粉講座パート2も開催してほしい。」などの声が聞かれ，米粉への関心の高さが伺えました。今年度の農村女性講座はこれで最後となりましたが，普及センターは次年度も引き続き，坂東地域の担い手女性の支援を行うとともに，地元農産物の魅力を広く発信していきます。



米粉で団子づくり
をしました



ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの発生が確認されました

平成28年春，秋に農研機構・果樹茶業研究部門が調査を行ったところ，坂東地域農業改良普及センター管内でもネオニコチノイド剤に抵抗性を持つワタアブラムシの発生が確認されました。

ワタアブラムシは果菜類を中心に多くの野菜や花き，果樹類に寄生し，新芽や葉を吸汁して生育に悪影響をおよぼします。また，有翅虫は春先～初夏に飛来し，その後コロニーを作り急速に増殖するため，初期防除が重要になります。

防除のポイント

- ・新芽や葉裏に寄生するので，散布ムラがないように農薬散布は丁寧に行う。
- ・定植時粒剤使用後・薬剤散布後に必ず防除効果を確認する。
- ・ネオニコチノイド剤の連用を避ける。（ローテーション散布の徹底）



ワタアブラムシ（無翅虫・幼虫）



ワタアブラムシ（有翅虫）

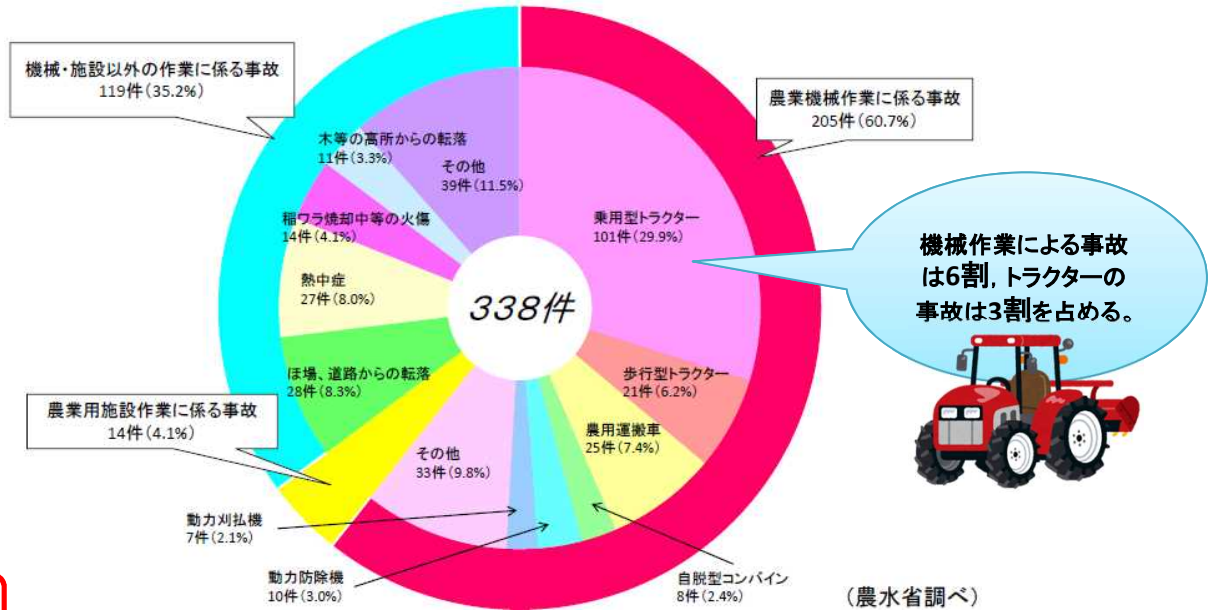
農作業の安全確認をしましょう！危険

近年、様々な農業機械の普及と農業従事者の高齢化や兼業化等により、機械の操作ミス、過信と慣れによる農作業死亡事故が発生しています。

現状

- 農作業死亡事故は昨年度338件発生。うち、65歳以上の比率は84%を占める。
- 農業機械作業による死亡事故のうち乗用型トラクターの事故が半分を占める。

要因別の死亡事故発生状況(平成27年)



対策

乗用型トラクターや作業機による事故を防ぐために

- 安全キャブ・フレームのある機種の使用及びシートベルトの着用
- 昇降路の手前での一旦停止及び走行時における左右ブレーキの連結
- 裾、袖口が締まっている作業服、ヘルメット、手袋、安全靴、保護メガネ等の保護具の着用
- 機械に巻き込まれる恐れがある作業では手袋を着用しない。

重大事故の背後には、事故にいたらない、たくさんのヒヤリ・ハットが潜んでいます(ハインリッヒの法則)。普段行っている作業でも、危険を感じる瞬間があったら、見直しを行いましょう。

「当たり前」と思っている作業にも危険が潜んでいます。
「事故は最大の経営リスク」です。事故のない環境づくりは経営の向上にも寄与します。



ハインリッヒの法則
1つの重大事故の背後には、29の軽微な事故があり、その背後には300のヒヤリ・ハットが存在する。

3月 土壌診断実施日のお知らせ



土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。
個人等の農家の方が対象です。

3月9日(木)
3月23日(木)

※実施日は変更になることがありますので、ご了承ください。
また、結果のご連絡には数日かかる予定です。
※10点以上のお持込みは事前に普及センターまでご連絡ください。

編集後記

今月号は農作業安全について特集しました。考えてみると、車の運転にも共通する部分が多いですね。事故を防ぐにはヒヤリ・ハットを無くすような習慣づけが必要だと思います。私も気をつけます。(荒井)

